

OSAKA, KANSAI, JAPAN

EXPO
2025

2025年日本国際博覧会

ジュニア
EXPO
2025

教員用指導書 小学校版

KEIRIN
00

競輪の補助事業

ご挨拶

2025年、大阪にて、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を開催します。

日本は、世界でも国際博覧会の開催経験が最も豊富な国の1つであり、だからこそ、これまでにない、新しい万博を成功させることが期待されています。

かつてないスピードで変化する社会の中で、人々の価値観や生き方がますます多様化し、わたしたちには「幸せとは？」、「自らの可能性を最大限に発揮するためには？」、「それを支える社会はどうあるべきか？」という深遠な問いが投げかけられています。

一方で、技術革新によって誰にも想像できなかったコミュニケーションが可能となりました。

このような進展は、世界中の叡智を集めるのに役立ち、さまざまなアイデアが集まることにより、複雑に絡みあった社会問題の解決につながることを期待できます。

2025年大阪・関西万博は、これまでの万博の概念にイノベーションを起こすような、壮大な Society5.0実現型の会場として、共に創り上げる「共創」の実現をめざしています。

世界がめざす共通の目標（ゴール）であるSDGsの達成のためには、一人一人が社会問題の解決を自分事として考え、自ら行動していくことが欠かせません。

新学習指導要領においても、持続可能な社会づくりを実現するためには、子どもたち一人一人が、地域の未来などを自らの課題としてとらえ、自分たちができることを考え、さまざまな人たちと協働して解決する資質・能力が求められています。

そこで、わたしたちは、2025年大阪・関西万博を題材に、SDGsを理解し、子どもたちなりにその達成に向けたさまざまな叡智を集め、仲間や多様な人たちと解決のためのアイデアを考えていく「共創」する資質・能力を育成するプログラムを準備しました。

このプログラムが、未来社会を創造する子どもたちの一助になればと願っています。

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会



第1章

教育プログラムの
基礎理解

第1章では、本プログラムのねらいや特長について触れ、その本質的な意図と目的を説明します。

1. プログラム概要

本プログラムは、
「“すべての”いのち輝くアイデアを提案する」という体験を通して、
万博の意味と価値を理解し、
多様な人々と「出会う」「共有する」ことによって
問題解決していく、
「共創」を体験するプログラムです。

特長 1

万博を題材に
SDGsを学ぶ



2025年大阪・関西万博
の考え方
共創

さまざまな人が集まり、
人のネットワークを広げることで
多くの人が協力して
いっしょに未来を
創っていくこと

特長 2

小学校EXPO、
地域の発表の場(ジュニアEXPO)で
アイデアを創造・発信



特長 3

新学習指導要領で求められる学び

- 資質・能力を育成するアクティブ・ラーニング
- 探究的な学習(総合的な学習の時間の充実)
- 社会に開かれた教育課程の実現

■ 単元概要

対 象

小学校高学年

授 業

10授業(45分×10時限～)

ねらい

【知識・技能】

万博の意味と価値を理解し、さまざまな問題解決に向けた取組とそのため大切にしていることを知る。

【思考力・判断力・表現力等】

さまざまな他者(仲間)との関わりを通して自分の考えを深めていく能力(「共創」する資質・能力)を育成する。

【学びに向かう力・人間性等】

「“すべての”いのち輝くアイデアポスター」を作ることを通して、SDGsの達成に不可欠な「誰一人取り残さない」という見方・考え方を獲得し、「自分は何を大切にしていけるのか」を明らかにする。

■ 単元構成

◆ ミッション ◆

「“すべての”いのち輝くアイデア」を考え、ポスターにして発信する。

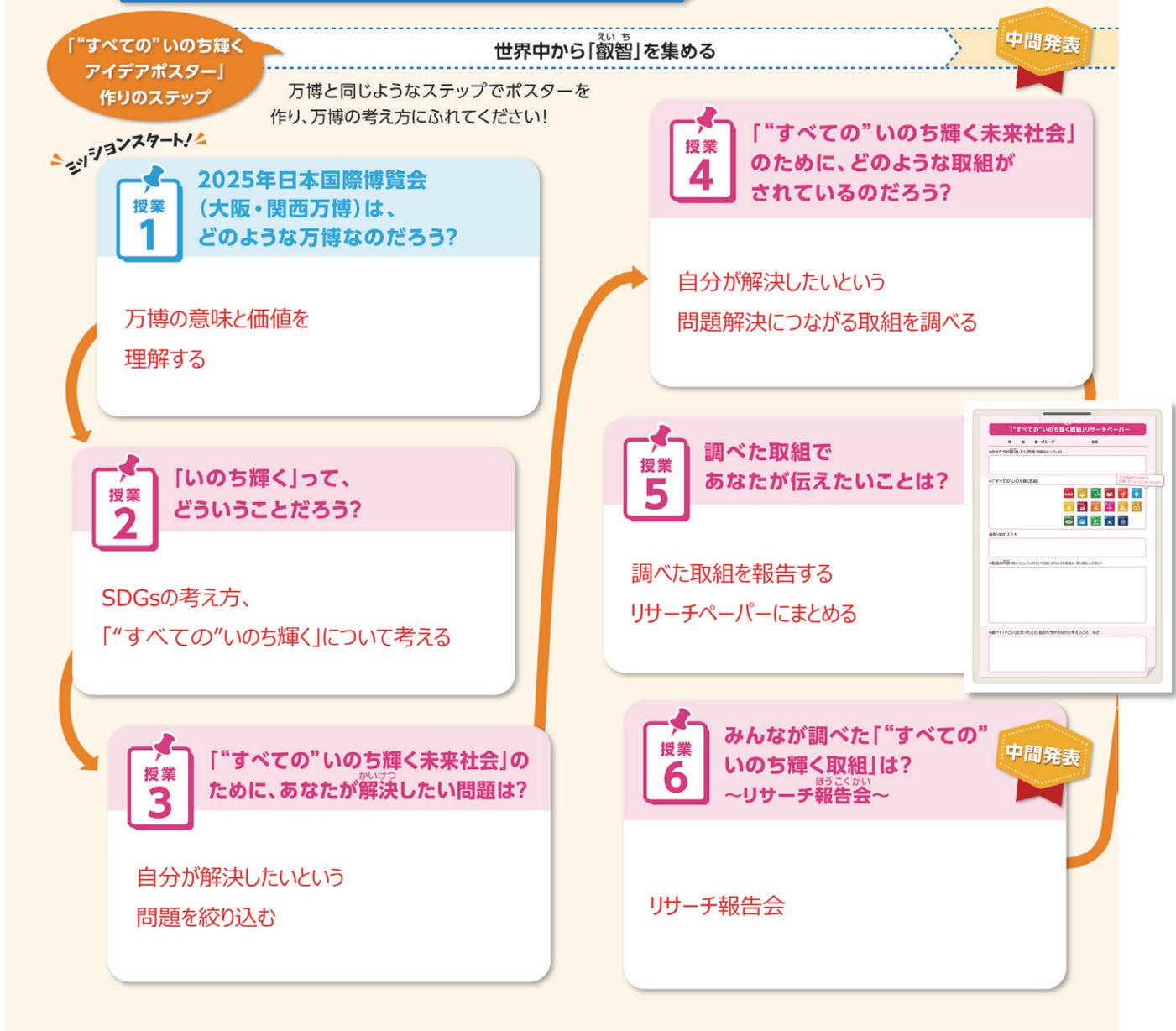
本プログラムは、「叡智を集める」⇒「アイデアを生む」という2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）だからこそこの学習ステップで単元を構成しています。

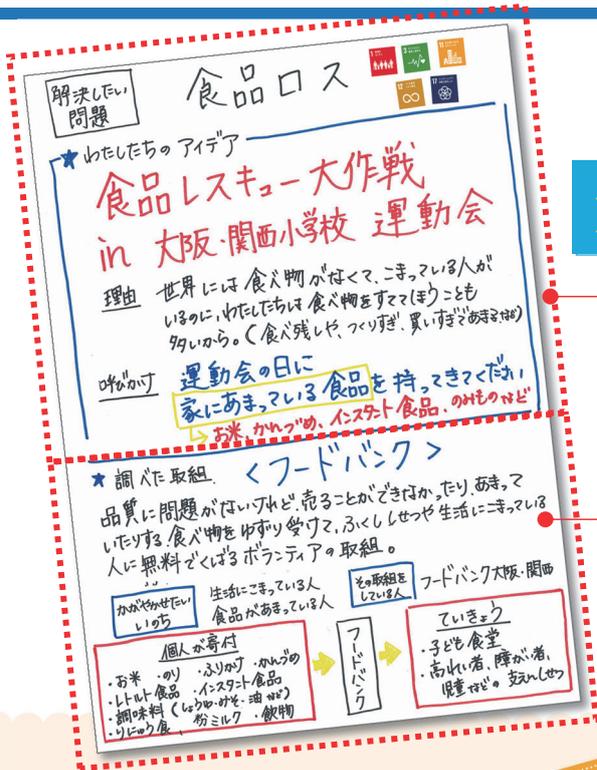
「リサーチ報告会」、「小学校EXPO」、「ジュニアEXPOへのアイデアポスター出展」などで自他の考えの交流を繰り返すことで、協働的な学びの実現と「共創」する資質・能力の育成をねらっています。

10授業で単元を構成していますが、総合的な学習の時間や学校行事と組み合わせるなど、各学校の状況に応じたカリキュラム・マネジメントで、より深い学びが実現します。

ジュニアEXPOまでのロードマップ

児童用の万博学習読本（以下児童用読本）のP.11～12にも同様のロードマップを掲載しています。





**成果物
ポスターイメージ**

授業7〜8で考える自分たちなりのアイデア

授業3〜5で調べて参考にした取組

アイデアを生む

**校内
発表会**

ジュニアEXPO

授業 7 わたしたちには、何ができるのだろう？
「すべての」いのち輝くアイデア

仲間からのアイデアをヒントに、
自分たちなりのアイデアを考える

付せんワーク

ポスターを
出して
出展！

ジュニアEXPO

ジュニアEXPOとは…

ジュニア EXPO 2025

ちいさな地域の子どもたち、先生方、保護者、SDGsに取り組んでいる方がた、さまざまな年れい、立場の人が集まって、未来の社会について考える場。

※アイデアポスターを出展します。小学生は希望者の自主参加を予定しています。

授業 8 あなたが伝えたい
「すべての」いのち輝くアイデアは？

小学校EXPOに向けたポスターを
作る

授業 10 「すべての」いのち輝く未来社会
のために大切にしたいことは？

これまでの学びをふりかえり、
自分自身が大切にしていきたいことを
考える

授業 9 わたしたちは、どんな
「すべての」いのち輝くアイデアを
考えることができたのだろう？

小学校EXPO

小学校EXPOの開催！
さまざまなアイデアに触れ、
自分にもできることがあることを知る

**校内
発表会**

本当の万博みたいに、
たくさんの人と
考えていきたいな！



自分たちの小学校で、
「小学校EXPO」として
発表会をするんだね！

2. SDGsを実現させる学び ～「誰一人取り残さない」～

本プログラムは、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に基づいています。

「いのち輝く」とは、自分のいのちが輝くだけでなく、世界中の「すべてのいのち」が輝くことを意味します。これは、SDGsの「誰一人取り残さない」という誓いと重なります。

SDGs 前文より

「我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放し、地球を癒やし安全にすることを決意している。我々は、世界を持続的かつ強靱（レジリエント）な道筋に移行させるために緊急に必要な、大胆かつ変革的な手段をとることを決意している。我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、**誰一人取り残さない**ことを誓う。」

現在の世界では、多くの人を取り残されており、そのいのちは輝いてとは言えません。しかし、「誰一人取り残さず、そのいのちを輝かせる」ことは、そう簡単なことではありません。

だからこそ、これからの未来を担う子どもたちには、その重大さを受け止めてほしいのです。

そして、一人では実現しなくとも、さまざまな人と叡智を合わせ、これまでにないアイデアを生み、共に解決に挑む「共創」によって新しい未来を創り上げてほしいと願っています。

SDGsの学習は、決して「17の目標（ゴール）を知ること」にとどまるものではありません。

子どもたち一人一人が、**「誰一人取り残さない」という考え方を身につけ、未来社会を創り上げるための判断にいかす、その資質・能力を育成すること**が求められるのです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「誰一人取り残さない」社会を鮮明にイメージすることは難しいですが、反対に、「誰かを取り残している」という姿は、SDGsの17の目標（ゴール）と対応させると、次のように考えることができます。

1. お金がなくてくらしていけない。
2. 食べ物がない。足りない。
3. 病院や薬がない。
4. 教育を受けることができない。
5. 男女の差。良い教育を受けることができない、良い仕事もない。
6. 飲める水がない。トイレもない。
7. 電気やガスが使えない。
8. 仕事がない。あってもひどい仕事だけ。
9. 道路も電話もパソコンも使えない、お金も借りられない。仕事にならない。
10. いろいろなことが不平等。
11. 家がない。バスや鉄道がない。まちにごみがたくさん。災害に弱いまち。
12. つくる人もつかう人も無責任。
13. 地球温暖化で、災害や被害が増える。
14. 海が汚れ、海の生物がいなくなる。
15. 陸上の生物がいなくなったり、緑がなくなったりする。
16. 戦争や暴力が絶えない。
17. 誰も助け合わない。

これらの姿は、児童たちにとって、決して自分事としてとらえやすいものではありません。しかし、**「誰かを取り残していないか」という視点で学校生活・教室を見る**ことができたならば……

- 学級のレクリエーションや席の決め方は……
- 班活動や運動会のルール、合唱コンクールの自主練習のスケジュールの決め方は……
- 盛り上がる話題や笑いのネタ、学級暗黙のルールや慣習・学級文化は……

子どもたちは、自分たちの問題として、SDGsの本質を考え、話しあい、乗り越えていくことができるでしょう。

身近にいる先生方だからこそ、子どもたちに身近な題材として、日常生活の場面を切り取って提示するなど、**SDGsを達成する本当の学び**が実現するようご支援いただきたいと願っています。

3. 授業のはじめに

本プログラムでは、効果的に授業を実施していただくために、さまざまな教材を準備しています。
第2章で紹介する指導案を参考に、各学校・先生方の授業計画に沿って自由にアレンジしてご活用ください。

【教員用指導書】

※本書



- 授業1～10の指導案。
 - 各授業で使用する児童用読本のページ解説。
 - 教材活用・授業実施のポイント。
 - P.35 指導参考資料のページ。
- ※授業計画づくりにぜひ、ご活用ください。

【スライド教材】



- 授業1/6/9で使用。
- ※すべての授業にスライド教材はありません。
- 授業1で使用するスライドは、映像教材付。
- ※事前に教室で再生と音声出力をご確認ください。

【万博学習読本】



- プログラムを通して使用する、授業1～10に沿ったワークブック形式の読本。
- 万博について、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）について、SDGsについてなどの情報を掲載。

【教材データ】

授業の実施形態により必要に応じて印刷して配付できるよう、PDFデータを準備しました。

- 授業2で使用 掲示用写真データ
- 授業5で使用 「“すべての”いのち輝く取組」リサーチペーパー
- 授業6で使用 リサーチ報告会記録用紙
- 授業8で使用 内容整理シート
- 授業9で使用 小学校EXPO記録用紙





第2章

ジュニアEXPO2025

第2章では、それぞれの授業詳細について説明します。

全10授業の指導案として準備していますが、各学校が今まで取り組んできた学習活動や学校行事、児童の状況に応じ、自由にアレンジして授業進行をしていただいて構いません。

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）は、 どのような万博なのだろう？

授業の
ねらい

- 事前学習【おうちでチャレンジ】のふりかえりや、映像教材の視聴を通して、万博への興味・関心を高める。
- 映像教材の視聴を通して、ミッション「**“すべての”いのち輝くアイデア**」を考え、ポスターにして発信すると、ゴール「ジュニアEXPOで発表（出展し、掲示）する」をとらえる。

授業 1の前に、宿題などで児童用読本P.1~6【おうちでチャレンジ】の学習を済ませてください。

時間	学習内容・活動	教員の支援	指導上の留意点
導入 15分	<p>1.宿題をふりかえり、 ねらいをとらえる</p> <p>❓ 問いかけ 万博って何だろう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【おうちでチャレンジ】で知ったことや興味をもったことをふりかえらせ、グループや全体で共有する。 ・これまでさまざまな博覧会が開かれたこと、そこには、身近なさまざまな「初めて」があったこと、世界中の人たちの関心を集めるできごとであることを確認する。 ・2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が開かれることを伝え、本時のねらいを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの導入、児童用読本1章（01）は「日本と万博（万国博覧会）」。 問いは、万博を開くことは、どのような意味があるのだろうか？ ・児童の身近に万博に行ったことがある人がいる場合は、インタビューさせ、その感動や多くの人が集まる興奮などを聞き取らせて共有するとよい。 ・スライド教材を活用するとよい。（本時で使用映像教材付）
展開 25分	<p>2.2025年大阪・関西万博 についての理解を深め、 興味・関心を高める</p> <p>❓ 問いかけ 2025年大阪・関西万博は、どのような万博なのだろう？</p> <p>▶ 映像教材 『万博がめざす未来』（約4分）</p> <p>3.ミッションをとらえ、 成果物の見通しをもつ</p> <p>❓ 問いかけ わたしたちは、どのようなことができるだろう？</p> <p>▶ 映像教材 『いっしょに“すべての”いのち輝く未来社会を創ろう！』（約1分30秒）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本でこれまで開かれてきた万博とテーマをふりかえり、その時代の人たちが未来を考える機会であったことを確認する。 ・映像教材を視聴させ、わかったこと、大切だと思ったことをメモさせる。 ・わかったこと、大切だと思ったことを話しあわせる。 ・2025年大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会」について考える機会であることを説明する。 ・児童用読本P.8~10の「もっとくわしく！」を活用し、2025年大阪・関西万博について補足する。 ・映像教材を視聴させる。 ・ミッション「“すべての”いのち輝くアイデア」を考え、ポスターにして発信するを確認する。 ・ジュニアEXPOまでのロードマップを確認し、ふりかえり欄で学びを記録していくことを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年大阪・関西万博テーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」。本プログラムでは、SDGsの「誰一人取り残さない」という考えに基づき、「すべての」という言葉をつけている。 ・映像教材で伝えている2025年大阪・関西万博についての内容を、児童用読本P.8~10「もっとくわしく！」として掲載。児童の理解度に応じて、参照させながら補足するとよい。 ・ミッションが押しつけにならないよう、「ここ、大阪・関西で開かれる万博を機会に、自分たちもいっしょに考えよう！」と動機づけるよう支援するとよい。
まとめ 5分	<p>4.まとめとふりかえり</p> <p>🔄 振り返り あなたが、万博についてわかったことは？</p> <p>🗺️ ロードマップ 今日の学習で、わかったこと、心に残ったことを書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業をまとめる。 ・自分が生きる未来社会について、自分たちでも小学校EXPOを開いて、いっしょに考えていこうと探究の意欲を高める。 ・ロードマップの授業1ふりかえりを記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★万博・2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の価値 ・未来社会に向けて考える場であること ・世界中から最新の叢智が集まること ・さまざまな人と共に新たなアイデアを生む「共創」の場であること など

■ 児童用読本 【おうちでチャレンジ】



資料やクイズで、万博について興味・関心を高めます。授業1の前に学習を済ませてください。

01 日本と万博(万国博覧会)

万博を開くことは、どのような意味があるのだろう？

おうちでチャレンジ
世界の人々が訪れる万博(万国博覧会)。日本では、これまで5回の万博が開かれた。それぞれの国で使われていた別々のアイデアは、その時代、その時代の人が抱いていた未来の夢が表れている。

万博とは
「博覧会」と「万国」を組み合わせた言葉。万国は、世界のこと。博覧会とは、展示会のこと。つまり、世界中のさまざまな国が参加する国際的な展示会のこと。日本と万博との関係について見ていきましょう！

国内の博覧会の始まり
万博(万国博覧会)への参加経験により、日本国内でも次々と博覧会が開かれた。どのような博覧会だったのか、見てみましょう。

1873年第1回内閣勸業博覧会
日本の近代化を促すための博覧会。新技術と日本の伝統の両方の展示が行われました。

1895年第4回内閣勸業博覧会
日本最初の電報博覧会。博覧会を通じて、多くの人が電報を知りました。電報-博覧会を通じて、日本の近代化への関心が高まりました。

1903年第1回内閣勸業博覧会
博覧会を通じて、多くの人が電報を知りました。電報-博覧会を通じて、日本の近代化への関心が高まりました。

1970年第1回日本万国博覧会
博覧会を通じて、多くの人が電報を知りました。電報-博覧会を通じて、日本の近代化への関心が高まりました。

1985年第1回国際科学技術博覧会
博覧会を通じて、多くの人が電報を知りました。電報-博覧会を通じて、日本の近代化への関心が高まりました。

1990年第1回国際花と緑の博覧会
博覧会を通じて、多くの人が電報を知りました。電報-博覧会を通じて、日本の近代化への関心が高まりました。

2005年第1回日本万国博覧会
博覧会を通じて、多くの人が電報を知りました。電報-博覧会を通じて、日本の近代化への関心が高まりました。

近代化を進めていた(明治時代の)日本で、国内の産業を興すために、欧米諸国で開かれていた万博へ参加したり、国内で博覧会を開いたりしていたという歴史を紹介しています。

02 万博、いよいよ日本へ

万博について、博覧会(万国博覧会)と同じく国際的なイベントですが、博覧会とは異なります。

1970年第1回日本万国博覧会
博覧会を通じて、多くの人が電報を知りました。電報-博覧会を通じて、日本の近代化への関心が高まりました。

1985年第1回国際科学技術博覧会
博覧会を通じて、多くの人が電報を知りました。電報-博覧会を通じて、日本の近代化への関心が高まりました。

1990年第1回国際花と緑の博覧会
博覧会を通じて、多くの人が電報を知りました。電報-博覧会を通じて、日本の近代化への関心が高まりました。

2005年第1回日本万国博覧会
博覧会を通じて、多くの人が電報を知りました。電報-博覧会を通じて、日本の近代化への関心が高まりました。

万博のテーマは時代を反映します。ここでは、日本で開催された5つの万博について紹介しています。テーマは、「科学技術の進歩」から「環境」へと移り変わり、2025年大阪・関西万博ではSDGsがテーマです。

03 万博の歴史

世界が日本までやって来ると、万博の歴史も、ますます面白くなります。

万博は、その時代の社会とつながりがあるんです。

2025年大阪・関西万博は、どんな万博になるのでしょうか？

時代	18	19	20	21
産業革命	イギリスで始まる産業革命	エネルギー・資源・通信技術の発展	科学技術の進歩	地球環境の悪化
国際化	新技術の発展	1914-1918年 第一次世界大戦	1939-1945年 第二次世界大戦	地球環境の悪化
国際化	1914-1918年 第一次世界大戦	1939-1945年 第二次世界大戦	1941-1945年 太平洋戦争	地球環境の悪化
国際化	1914-1918年 第一次世界大戦	1939-1945年 第二次世界大戦	1941-1945年 太平洋戦争	地球環境の悪化
国際化	1914-1918年 第一次世界大戦	1939-1945年 第二次世界大戦	1941-1945年 太平洋戦争	地球環境の悪化

ポイント
それぞれのテーマのキーワードを入れるチャレンジワークを準備しました。児童用読本のP.3~4(前のページ)を参考にすると、記入できます。児童に「万博にはテーマがあり、それぞれ違う」点に気づかせることで、授業1の学習に(2025年大阪・関西万博のテーマは何だろう?)興味・関心を高めることをねらいとしています。

■ 映像教材の概要

▶ 映像教材 『万博がめざす未来』 (約4分)

それぞれの時代が思いえがく理想の未来に対して、さまざまな提案がなされ、世界中の関心を集める万博。2025年大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を紹介し、2025年の開催に期待を高める。



【映像貼付スライド】

▶ 映像教材 『いっしょに「すべてのいのち輝く未来社会」を創ろう!』 (約1分30秒)

児童に「みんなが生きるこれからの未来社会について、いっしょに考えよう!」と投げかける。ジュニアEXPOを開催することを伝え、単元を通したミッション「すべてのいのち輝くアイデアポスター」を作してほしいということを示す。



【映像貼付スライド】

■ 児童用読本 ふりかえり記録ページ

映像教材を視聴し、ミッション「すべてのいのち輝くアイデア」を考え、ポスターにして発信すると、「ジュニアEXPOで発表(出展し、展示)する」を確認しましょう。このページは、プログラムの全10授業の全体像と流れを可視化してとらえやすくすると共に、毎回のふりかえりをロードマップ1枚に記録することで、自分がどんなことに気づいたり、どのように考えたりしてきたのか、自己認知させることをねらいとしています。



ポイント
本プログラムでは、万博の特長を模した探究のステップでアイデアポスターを作ります。

ポイント
毎回のふりかえりでは、「本時の問い」に対して自分は何がわかったのか、どのように感じたり考えたりしたのかを書かせましょう。

ポイント 自分たちの小学校でも「小学校EXPOを開く」ことを確認し、イメージをもたせ、意欲を高めましょう。

授業のねらい

- 「自分のいのち輝く」 ことについて考えたり、フォトランゲージを使って世界中の「“すべての”いのち輝く」 について考えたりすることを通して、「誰一人取り残さない」考え方が大切であるということに気づく。

時間	学習内容・活動	教員の支援	指導上の留意点
導入 5分	1.ねらいをとらえる	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に提示されたミッション「<u>“すべての”いのち輝くアイデア</u>」を考え、ポスターにして発信するを改めて確認し、本時のねらいを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童用読本2章(02)「“すべての”いのち輝くためのアイデアを考えよう」に入ったことを伝える。 ・問いは、「<u>“すべての”いのち輝く未来社会のために、わたしたちができることは？</u>」
展開 35分	2.自分の「いのち輝く」について考える	<ul style="list-style-type: none"> ・「輝く」という言葉の意味を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に、「輝く」という言葉からどのようなイメージをもつか、話しあわせる。黒板に書き出すなどして共有するとよい。 ・「いのち輝く」についてイメージが湧きづらい場合は、本誌P.16の具体的な姿を例示するとよい。 ・展開の2と3で2回書かせることで、考えを深める。 ・児童用読本には、2枚の写真を掲載しているが、あくまで例であり、「“すべての”いのちが輝く必要がある」ことに気づかせるほかの写真を使用してもよい。子どもたちに身近な、学校生活の一場面を切り取って提示することができれば、問題をより身近に感じさせることができる。 ・フォトランゲージを深める問いかけ(例) <ul style="list-style-type: none"> ●何をしているところだろう？ ●これからどうなるのだろう？ ●いのちは輝いているかな？ ●写真を見てどんなことに気づいた？考えたことは？ ・再び、同じ回答欄に追記させる。
	<p>🔍 問いかけ 「いのち輝く」とは、どういうことだろう？</p> <p>📝 ワーク 自分の「いのち輝く」について考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分のいのちが輝いている」と思えるとき、「自分のいのちが輝いていない」と思うときを書き出させ、グループや全体で共有する。 ・「いのちが輝く」ために大切なこと・必要なことを考えて書かせ、「<u>熱中・没頭・自分らしく時間を過ごす</u>」などに気づかせる。 <p>🔍 問いかけ 自分以外、「ほかの人のいのち」は、輝いているのだろうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「可能性が奪われているいのち」があることや、「自分がよければよいという考え方の問題」に気づかせる。 ・「“すべての”いのち輝く」ことができていない理由と、自分が「いのち輝くことに取り残されたらどのように感じるか」想像して書かせる。 ・改めて、「いのち輝く」ために大切なこと・必要なことを考えて書かせ、「<u>誰一人取り残さない</u>」という考え方の重要性和必要性に気づかせる。 	
	3.自分以外、ほかの人の「いのち輝く」について考える(フォトランゲージ)	<p>📝 ワーク 写真から、気づいたことや考えたことを話しあってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用読本P.14の写真を活用し、そこからどのようなことが読み取れるか考えさせる。 <p>📝 ワーク 「“すべての”いのち輝く」について考えてみましょう。</p>	
まとめ 5分	4.まとめとふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・授業をまとめる。 <p>🔄 ふりかえり 「“すべての”いのち輝く」ために、あなたはどんなことが大切だ、必要だと考えただろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰一人取り残さない」という考え方で、「自分が生きる未来社会について考えていこう」と、これからの探究の意欲を高める。 <p>🗺️ ロードマップ 今日の学習で、わかったこと、心に残ったことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップの授業2ふりかえりを記入させる。 	<p>★プログラムを通して伝えたい大切なメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界中「“すべての”いのち輝く」ためには、「誰一人取り残さない」という考え方が不可欠であることをおさえる。

■ 児童用読本 授業2

「自分のいのち」⇒「ほかの人（世界の人）のいのち」の順で考えていきます。
 まず、児童に自分事として引きつけて考えさせるために、最初に「自分のいのちが輝いている」と思えるときは？
 という問いを準備しました。

02 “すべての”いのち輝くためのアイデアを考えよう
 「“すべての”いのち輝く未来社会」のために、
 わたしたちができることは？

ポイント
 提示している写真については、本誌P.17を参照してください。

自分の「いのち輝く」
 まずは、自分の「いのち輝く」について考えてみましょう。

「いのちが輝いてる」と思えるとき
 「いのちが輝いていない」と思うとき

「すべての”いのち輝く”ことができないのは、どのような理由があるからだと思いますか？
 自分の考え

自分が「いのち輝く」ことから取り除かれたら、どのように感じるでしょうか。想像してみましょう。
 自分の考え

ポイント
 2回記入させます。
 「自分のいのち」では浅かった考えを、「自分以外、ほかの人のいのち」を想像してから改めて考えることで、深めさせることをねらっています。

■ 「いのち輝く」について

「いのち輝く」について、児童はすぐにイメージを湧かせることができないかもしれません。
 次のような具体的な姿を例示して、自分に引きつけて考えさせましょう。
 また、「今」だけでなく「未来」でいのちが輝く姿を想像させることで、さまざまな人の（どのような年齢・立場であっても）「いのち輝く」ことの重要性と必要性に気づかせることができます。

児童のいのちが「今」輝く例

- **放課後、友達と好きなことに熱中して遊ぶ。**
 【具体的な姿イメージ】
 学校が終わるとすぐに集まって、みんなと熱中しているのは大好きなサッカー。夢中になっていると、すぐ帰る時間になってしまう。「また明日！」と言って、心地よい疲れと共に家に帰った。
- **趣味・特技に思う存分取り組み、人の役に立つ。**
 【具体的な姿イメージ】
 昔から絵をかくのが好きで、夢中になって気づけば時間を忘れてしまうこともしばしば。
 週末には、さまざまな美術館・展覧会に連れて行ってもらえるのがとてもうれしい。先日、かいた絵を、祖母にプレゼントしたら、とても喜んでもらえてうれしかった。

ほかに、

- 勉強やクラブ活動など、学校生活をがんばる。
- 地域の活動に積極的に参加し、交流する。
- 将来やめざす生き方の実現のために、習い事に打ち込む。

などが考えられる。

児童のいのちが「未来」で輝く例

- **夢をかなえて活躍している。**
 【具体的な姿イメージ】
 小さい頃から、世界で活躍する仕事に憧れていた。大学時代に国際ボランティアをしたときに、開発が環境破壊につながるという問題に直面し、何とかしたいという思いが高まった。それが今の再生可能エネルギー開発の仕事につながっている。
- **地域の少年野球チームでスポーツを教える。**
 【具体的な姿イメージ】
 今の楽しみは、週末に少年野球チームで、子どもたちと野球の練習をすること。
 小学生の頃から、30年間続けた野球。今はコーチをしている。保護者の方からも好評で、今では家族ぐるみにつきあいに。この夏は、地区大会出場を目標に、子どもたちといっしょにがんばっている。

ほかに、

- 休日に家族（子どもたち）と公園で遊ぶ。
- 趣味で制作した作品をSNSで発信し、世界とつながる。

などが考えられる。

■ フォトランゲージワーク写真の概要

本プログラムでは、「誰一人取り残さない」という考え方をおさえるために、児童用読本に「**貧困**」「**教育・格差**」などの問題が読み取れる写真教材を準備しました。

このほかにも、「**環境・エコ**」「**生物多様性**」など、次の授業（授業3）で、児童がSDGsのさまざまな目標（ゴール）について考えたいと思えるような写真教材を提示することも可能です。授業計画に応じてアレンジしてください。



©Takayoshi Kusago

写真教材の意図

教育の機会が奪われ、「いのち輝く」可能性が狭められている。

●「薪集め」 ブータン王国

- ・ブータンのある村では、まだ電気が通っていなかったり、故障が多かったりして、一般の家庭では薪を使っています。
- ・ブータンの経済は、農業に大きく依存しており、子どもたちは、農作業で忙しい家族を**手伝うため**、薪集め、火おこし、そうじ、洗濯、料理などをします。
- ・学校までは遠く、**なかなか通うことができない**子どもたちも多くいます。現在、ブータンの**識字率は約6割**で、その中でも**男女間の差**が見られます。田舎に住んでいることもあり、人口の約30%が**貧困層**です。

世界には、さまざまな「暮らし」があり、SDGsに掲げられている目標につながる**さまざまな問題**を抱えています。その問題は、それぞれがバラバラなものではなく、**つながっていること**が多くあります。ここでは、児童に近い年齢の子どもの写真を準備しました。児童が、「**もし自分だったら**」と、写真に写っている人の立場で「いのち」について考えることができるように、声をかけるとよいでしょう。



写真提供：鈴木革/JICA

写真教材の意図

格差の問題。自分だけがよければよい、という考え方により、解決されない問題がある。

●「ダッカ市内のスラム地区」 バングラデシュ人民共和国

- ・バングラデシュでは、農村部の暮らしに苦しんで、都市部に流入する人が多く、都市周辺部にスラム地区が形成されています。
- ・しかし、都市部で**十分な仕事に就くことができません**、より貧困になってしまっています。貧困層は**川沿いに簡易の家屋を建てる**ことが多く、モンスーンによる豪雨などの**自然災害の被害を受けやすい**ことも、安定した生活を送ることができない原因の一つとされています。
- ・**一方で、富裕層**も存在し、都市部には欧米諸国のファストフードチェーンが出店するなど、格差が生じています。

一度貧困に陥ると、なかなか抜け出すことができないとされています。

ここでは、**背景にマンションが見える**写真を準備しました。格差の問題は、貧困層の人たちが自分の力で解決することが難しく、差が広がる一方であることが大きな問題です。「**貧困層ではない人たち**」が、この問題を**自分事**としてとらえ、貧困の連鎖を断ち切る行動をすることが求められています。

「“すべての”いのち輝く・誰一人取り残さない」ことを自分事として考えるために

プログラムの基本教材としては、世界の写真から考えるワークを準備しました。

しかし、本当に児童たちが自分事としてとらえるには、児童たちに身近なシーンを提示することが有効です。例えば……

- グループワークで、机をしっかりとくっつけていない
 - 休んでいるからといって、勝手にその人の机にモノを置く
- など、「誰かを取り残していないか」という視点で学校生活・教室を見ることができるよう、先生方オリジナルのアレンジを期待いたします。

memo

授業の
ねらい

- 自分のめざす未来社会を思いがき、それを実現させるために解決しなければならない問題について知り、自分が解決したいと考える社会問題のキーワードを絞り込む。

時間	学習内容・活動	教員の支援	指導上の留意点
導入 5分	1.ねらいをとらえる	・前時の内容「世界には、まだ輝くことができていないいのちがたくさんある」ということをふりかえり、本時のねらいを伝える。	
ねらい：「“すべての”いのち輝く未来社会」のために、解決しなければいけない問題を知る。			
展開 35分	2.世界共通の目標（ゴール）SDGsを知る	・SDGsは誰一人取り残さず、「“すべての”いのち輝く未来社会」をめざす世界共通の目標（ゴール）であることを説明する。	
	<p>🔍 問いかけ 「“すべての”いのち輝く未来社会」とは、どんな社会だろう？</p> <p>📌 ワーク 世界の人たちと共に生きる自分をイメージして、自分の絵をかいてみましょう。</p>	・イラストとかかせた絵を活用し、未来社会で「笑顔で手をつなぐ自分」でいるためには、「自分が輝く」のはもちろん、「世界中のすべての人が輝ける」社会でなければいけないことを確認する。	・絵をかかせる部分 
	3.5つの「P」から未来社会を考える	・SDGsを5つに分けて考えるとイメージしやすくなることを伝え、5つの「P」を説明する。	・5つの「P」 「People 人間」 「Prosperity 豊かさ」 「Planet 地球」 「Peace 平和」 「Partnership パートナーシップ」
	4.自分が解決したいと考える問題のキーワードを選ぶ	・自分が考えたい「P」を決め、チェックさせる。 ・「“すべての”いのち輝く未来社会」を実現させるためには、今、世界にはさまざまな解決しなければならない問題があることを伝える。	
	<p>🔍 問いかけ あなたが、解決したいと考える問題は？</p> <p>📌 ワーク 自分が考えたい「P」について読み、自分が解決したいと考える問題のキーワードと目標（ゴール）を選びましょう。</p>	・自分が考えたい「P」を決め、チェックさせる。 ・児童用読本P.17～20を読ませ、今の世界が抱える問題を具体的にとらえさせる。 ・児童用読本の「解決したい問題のキーワード」から選ばせたり、インターネットで調べさせたりして、自分が解決したいと考える問題を決めさせる。	★プログラムのヒント ※児童が単元を通して考えていく問題を自分事としてとらえさせるために、「自分で選んで書く」という活動を大切にするとよい。
まとめ 5分	5.まとめとふりかえり	・授業をまとめる。	グループワークのポイント ・今後の探究は、同じ「P」やSDGs、同じ「解決したい問題」を選んだ児童でグループを組ませるとよい。
	<p>🔄 ふりかえり あなたが、その問題を解決したいと考えたのはなぜ？</p> <p>📌 ロードマップ 今日の学習で、わかったこと、心に残ったことを書きましょう。</p>	・自分が解決したいと決めた理由を明らかにさせ、探究への意欲を高める。 ・ロードマップの授業3ふりかえりを記入させる。	

児童用読本 授業3

まず、自分の絵をかくワークで「自分が世界中のさまざまな人たちと共に生きる未来」をイメージさせます。多くの児童が、「笑顔で、手をつないで」いる自分の姿をかくことが予想されます。しかし、そんなふうに「自分が輝く」ためには、イラストでかかっているようにほかの「世界中のすべての人も輝ける」社会でなければいけないことを確認しましょう。

「すべての」いのち輝く未来社会のために、あなたが解決したい問題は？

自分自身のアイデアを考えるために、まずは、「どんな未来社会をめざしたいか」を考えてみましょう。その未来を実現するために解決しなければならない問題には、どのようなものがあるでしょうか。

「すべての」いのち輝く未来社会について、どのように考えたいの？

まず、自分は「どんな世界・未来社会で生きていきたいか」について考えてみましょう。

5つの「P」から考える未来社会

あなたは、どのような未来社会で生きていきたいですか？
また、「すべての」いのち輝く未来社会のために、どのようなことを大切にしたいですか？
また、次の5つの「P」から1つ選びましょう。そして、次のページ以降を読んで、自分が気になること、考えていきたいことの中から、解決したい問題のキーワードを選び、P.20の下に書きましょう。

ココにチェック

P people 人間
真ん中を輝かし、すべての人が健康で元気に、おたがいを大切にしようとする未来社会を築きたい
● 病気や障害の不安定をなくしたい
● すべての人が健康で元気にいらしてほしい
● すべての人が思いやりを持って接し合いたい
● 高齢や若年を問わず、誰もが安心して暮らしていける未来社会を築きたい
● すべての人が安全な暮らしを享受できるようにしたい

P prosperity 豊かさ
経済的に豊かで、すべての人が安心して暮らせる未来
● すべての人が安全なエネルギーを享受できるようにしたい
● すべての人が思いやりを持って接し合いたい
● 貧困や格差、経済的な不安定をなくしたい
● 世界の人の豊かさを増やしていきたい
● すべての人が安全に暮らせる未来社会を築きたい

P planet 地球
自然を大切に、地球上のさまざまな生物と共に生きる未来
● 責任をもって、地球を大切にしよう
● 気候変動から地球を守りたい
● 海の生物、森林などの豊かさを守りたい
● 陸の生物、森林などの豊かさを守りたい

P peace 平和
平和で、争いのない未来
● すべての人が安全に暮らせ、公正に守られ、平和に暮らしていける未来社会を築きたい

P partnership パートナースHIP
すべての人が、さまざまな形で協力しあう未来
● みんなで協力して「誰一人取り残さない」社会を築きたい
● パートナースHIPは、「すべての」を実現するための鍵です。

SDGs「誰一人取り残さない」

誰一人取り残さず、「すべての」いのち輝く未来社会をめざす。世界共通のゴールをSDGsと言います。

空いてるところに、自分の絵をかこう！

「自分が輝くだけでなく、世界中の「すべての人が輝ける」社会でなければいけない。」

児童用読本P.17~20で準備しているSDGsの17の目標（ゴール）とその現状（問題）について、児童が限られた時間ですべてに目を通すことは難しいため、大きく5つに分けた「P」から考えられるよう児童用読本P.16にチェックリストを準備しました。児童自身がイメージする「すべてのいのち輝く未来社会」は、どの「P」の姿に近いのか、考えさせながら範読するなどして確認していくとよいでしょう。

ポイント ここまでの学習で「Planet 地球」や「Partnership パートナースHIP」を選択する児童は少ないかもしれませんが。ほかの単元や過去の学び（例：地域学習）と関連させて想起させたり、学習を深めながら「5つのP」に立ち返らせたりして、「すべてのいのち輝く未来社会」のためにどの「P」も大切であることを伝えるとよいでしょう。

P people 人間 真ん中を輝かし、すべての人が健康で元気に、おたがいを大切にしようとする未来社会を築きたい

P prosperity 豊かさ 経済的に豊かで、すべての人が安心して暮らせる未来

P planet 地球 自然を大切に、地球上のさまざまな生物と共に生きる未来

P peace 平和 平和で、争いのない未来

P partnership パートナースHIP すべての人が、さまざまな形で協力しあう未来

このキーワードから選べます。ここに掲載している問題は一例ですので、インターネットなどで調べさせることができれば、よりよいでしょう。

ポイント このキーワードから選べます。ここに掲載している問題は一例ですので、インターネットなどで調べさせることができれば、よりよいでしょう。

ポイント 自分が「解決したい」と考えたキーワードを書かせます。「選ばれる」ことが、問題を自分事としてとらえさせることにつながります。

「“すべての”いのち輝く未来社会」のために、 どのような取組がされているのだろう？

授業の
ねらい

- 「“すべての”いのち輝く取組」を調べ、具体的な取組と、それに取り組む人の思いをとらえ、自分たちなりの「“すべての”いのち輝くアイデア」の参考にする。

時間	学習内容・活動	教員の支援	指導上の留意点
導入 5分	1.ねらいをとらえる	・前時に自分自身が決めた「解決したい問題のキーワード」をふりかえらせ、本時のねらいを伝える。	
ねらい：「“すべての”いのち輝く未来社会」に向けて、今、どのような取組がされているか調べる。			
展開 35分	2.「“すべての”いのち輝く取組」を調べる	<p>・世界中でさまざまな取組がされていること、それは、国や企業など大規模なものから、ボランティアまで幅広いことを説明する。</p> <p>🔍 問いかけ あなたが解決したいと感じている問題の解決に向けて、今、どのような取組がされているだろう？</p> <p>・児童用読本P.23～28を範読するなどして例示しながら、SDGs達成に向けたさまざまな取組について具体的に説明する。</p> <p>・児童用読本やインターネットを活用し、自分が解決したい問題とつながるSDGsの達成に向けた取組を調べさせる。</p> <p>🔗 ワーク 解決したいと感じている問題に対する取組を2つ調べましょう。</p> <p>※以下の項目に従って調べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 調べた「“すべての”いのち輝く取組」(名称) ● 取り組む人たち ● 取組の内容(輝かせたい「いのち」や目標、どのような取組か、取り組む人の思い) <p>・グループで調べたことを報告させたり、全体で発表させ共有したりする。</p> <p>・問題を解決するために大切だと考えたこと、調べて「すごい」と思ったことなどを書かせる。</p>	<p>グループワークのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業3で同じ「P」やSDGs、同じ「解決したい問題」を選んだ児童でグループを組ませるとよい。 ・インターネットで調べさせる前に、児童用読本に掲載している取組を例示することで、取組について具体的にイメージさせると共に、情報収集の視点(項目)を明確にさせることができる。 <p>★プログラムのヒント</p> <p>※この後の探究を自分事にさせるために、調べたさまざまな取組の中から、自分が「すごい」と思ったものなどを選んで書かせることを大切にするとよい。</p> <p>グループワークのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ「解決したい問題」を選んだ児童のグループで、まずは個人で調べ活動を行い、グループで報告させあうとよい。
まとめ 5分	3.まとめとふりかえり	<p>・授業をまとめる。</p> <p>🔄 ふりかえり あなたが解決したいと感じている問題に対して、どのような人たちが、どのような取組をしていたらう？</p> <p>・調べた取組が、「“すべての”いのち輝く」ためにどのようなことに着目し、どのようなことを大切にしていたかを確認させる。</p> <p>・調べることができたことを価値づけ、それを「伝えたい」という意欲を高める。</p> <p>🗺️ ロードマップ 今日の学習で、わかったこと、心に残ったことを書きましょう。</p> <p>・ロードマップの授業4ふりかえりを記入させる。</p>	

■ 児童用読本 授業4

次の授業は、調べたことをまとめ、発表・共有するリサーチ報告会の準備をします。本時で調べた取組の中から、「みんなに伝えたいのは、わたしはこれだ!」と思えるよう、さまざまな取組に触れさせ、その中から選んで書かせましょう。

！ポイント

単元のミッション「自分たちのアイデアを考え、ポスターにして発信する」ために調べる、という目的・位置づけを確認してから調べ活動に入りましょう。

授業4 「『すべての』のち輝く未来社会』のために、どのような取組がされているのだろう？」

今、世界中でさまざまな取組が進められています。自分たちなりの「すべての」のち輝くアイデアを考えるには、どのような取組が行われているのかを知ることが大切です。

ポイント

- 国をこえて世界で協力している人たちや、企業やボランティア団体、また、身近な地域にも、さまざまな取組をしている人がいるはずですよ!
- P.23から取組事例があります。読んでみましょう!

① 『すべての』のち輝く取組調べ

自分が解決したい問題のキーワード

調べた「すべての」のち輝く取組1つ目

取り組む人たち

取組の内容 (調べたい「い」のちや目的、どのような取組か、取り組む人の思い)

② 調べたことをふりかえって

問題を解決するために大切なことと考えたこと、調べてほしいと思ったことなどをこう!

調べさせる前に、児童用読本P.23~28を使って取組を例示すると、企業・団体の取組について、具体的にイメージさせることができます。

！ポイント 掲載している事例1、2は子どもたちが実践している取組を紹介しています。

事例1 地産の人と協力した食品ロスなくす取組

事例2 瀬戸内海のごみ問題への取組

事例3 100万人の手裏剣プロジェクト

事例4 100万人の手裏剣プロジェクト

事例5 100万人の手裏剣プロジェクト

事例6 1人の子供を笑顔に改善する事業

！ポイント

事例3~6は、企業・団体の取組紹介です。「アイデアの視点」、「さまざまな人との協力(できることはいろいろある)」、「得意、強みをいかす」、「発信・広めるときには対象を明確にする」など、児童が自分たちのアイデアを考える参考になるように、いっしょに読み進めるとよいでしょう。

授業の
ねらい

- 調べた取組を報告するリサーチペーパーを作成することを通して、「“すべての”いのち輝く未来社会」のためにどのような取組が必要・有効なのか、自分たちの考えを整理する。

時間	学習内容・活動	教員の支援	指導上の留意点
導入 5分	1.ねらいをとらえる	・前時に自分たちが調べた「“すべての”いのち輝く取組」をふりかえらせ、本時のねらいを伝える。	
	ねらい：調べた「“すべての”いのち輝く取組」をまとめたリサーチペーパーを作る。		
展開 35分	2.リサーチペーパーを作る		
	🔍 問いかけ あなたが「すごい」と思った「“すべての”いのち輝く取組」は？		
		・調べた「“すべての”いのち輝く取組」をグループで1枚の報告書としてまとめること、またそれを活用した報告会を開き、ほかのグループが調べた取組も知ることができることを伝える。	★カリキュラム・マネジメント ・国語（小学校高学年）の学習と連動させるとよい。 ・ここでは、自分たちの調べた取組について、「伝えたいすごさ」をまとめることで、取組の「よさ」をとらえることをねらいとしている。見せ方や発表手法については重点を置かないため、成果物を模造紙などではなく、1枚（A4）のリサーチペーパーとした。
	🔧 ワーク 調べたことをリサーチペーパーにまとめましょう。		
	3.調べたことに対する考えをまとめる	・児童用読本のP.29を活用し、リサーチペーパーのまとめ方を説明する。 ・グループで、みんなに伝えたい取組を1つ選ばせ、調べた情報を、児童用読本のP.30を活用して整理させる。 ・調べて「すごい」と思ったこと、自分たちが大切だと考えたことなどをグループで話しあわせ、リサーチペーパーを書かせる。	
まとめ 5分	4.まとめとふりかえり	・授業をまとめる。	★プログラムのヒント ・リサーチペーパーを作ることがゴールではなく、調べたことをみんなで共有して、「“すべての”いのち輝く未来社会」に向けて考えを深めていくこと（次の授業）が重要であることを伝えるとよい。 ★プログラムのヒント 「リサーチブック」 ・次の授業では、リサーチペーパーを使って「報告会」を行う。その際、発表のもとになる資料（リサーチペーパー）を綴じて冊子にし、「わたしたちのリサーチブック」などとして配付すると、気持ちが高まる。
	🔄 ふりかえり リサーチペーパーで、一番伝えたい部分はどこだろう？		
		・書いたリサーチペーパーをグループでふりかえらせ、調べた取組の「よさ」を表現している部分はどこか、みんなに伝えたいこと（＝問題の解決に向けて大切なこと）は何かなどについて話しあわせ、次の授業のリサーチ報告会への意欲を高める。	
	🗺️ ロードマップ 今日の学習で、わかったこと、心に残ったことを書きましょう。		
		・ロードマップの授業5ふりかえりを記入させる。	

■ 児童用読本 授業5

グループで、調べた取組の中から「伝えたい取組」を1つ選び、1枚にまとめます。

調べた取組であなたが伝えたいことは?
調べた取組を、みんなに伝えるために報告書としてまとめましょう。

調べたことを、まだ知らない人に伝えるには、
どんなことが大切なのでしょう。

調べたことをまとめて報告する文章を書く **リサーチペーパー**

▶ **リサーチペーパーの役わり**
リサーチペーパーは、調べたことを報告したり、人に伝えたりするためのものです。ただ自分の意見だけを書くのではなく、調べたことを正しく書くことが大切です。

▶ **リサーチペーパーの書き方**

- 1 **何について報告するか決める**
調べた取組の中から、特にみんなに伝えたいと思うものを選びましょう。
- 2 **調べた情報を見直す**
 - 報告に必要な情報がそろっているか確かめ、足りない場合はさらに調べましょう。
 - グループで調べている場合は、手分けして調べるとよいでしょう。
- 3 **リサーチペーパーを書く**
多くの内容を書くことはできませんので、次のことに注意して、愚直とよいでしょう。
 - ☑ 正しく伝えるために、必要な情報は何か
 - ☑ 初めて読む人にとって、大切な情報は何か
 - ☑ どの事例を取り上げるとわかりやすいか

調べたことの中から、初めて読む人の立場で情報を選ぶんだね。

調べた情報をもとに、リサーチペーパーを書こう！▶

「すべての”いのち輝く取組」リサーチペーパー

年 級 組 グループ 名前

●自分たちが解決したい問題 (問題のキーワード)

●「すべての”いのち輝く取組」
その取組につながる目標(ゴール)に○をつけよう!

●取組む人たち

●取組の内容 (誰かしたいいのち)や目標、どのような取組か、取組む人の思い

●調べて「すごい」と思ったこと、自分たちが大切だと考えたこと など

● 「すべての”いのち輝く取組」リサーチペーパーPDFデータ

- ・ 児童用読本に記入させるのではなく、提出用ワークシートとして別紙で準備したり、グループワークをさせたりする場合などは、出力してご利用ください。



授業の発展アイデア

■ 自分が実現したい未来を思いえがかせ、リサーチを自分事にさせる

授業3で考えた、5つの「P」を切り口した「自分は、こんな未来にしたい」という思いを大切にしましょう。

調べさせる前に、**自分が実現したい未来**や、**解決しなければ強く感じた問題**などを、具体的に思いえがかせておくことで、主体的なリサーチにつながります。

ここでは、実現する・しない(できる・できない)にこだわらず、児童一人一人に「**こうなったらいいな**」というイメージをもたせ、それを**言語化**させることが大切です。

さらに、「なぜ、あなたは、そうならいいと考えるのか」という理由を明確にさせると、その未来を実現させたいという気持ちが強まり、リサーチの質が高まります。

【5つの「P」から考える未来】

<p>P <small>people</small> 人間 貧しさを解決し、すべての人が健康で元気に、おたがいを大切にしあえる未来</p>	<p>P <small>prosperity</small> 豊かさ 経済的に豊かで、すべての人が安心してらせる未来</p>
<p>P <small>planet</small> 地球 自然を大切に、地球上のさまざまな生き物とともに生きる未来</p>	<p>P <small>peace</small> 平和 平和で、争いのない未来</p>
<p>P <small>partnership</small> パートナーシップ すべての人が、さまざまな形で協力しあう未来 ※パートナーシップは、「すべてのP」を実現するために必要です。</p>	

授業の
ねらい

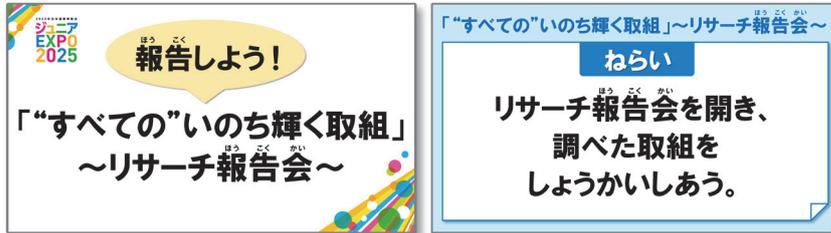
- リサーチ報告会をすることを通して、さまざまな取組を具体的に知る。
- さまざまな人たちによって取組が進められていることを知り、「“すべての”いのち輝く未来社会」の実現に向けてたくさんの動きがあることに刺激を受けたり、自分たちにもできることがあるかもしれないと期待を高めたりする。

時間	学習内容・活動	教員の支援	指導上の留意点
導入 5分	1.ねらいをとらえる	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に、伝えたい「“すべての”いのち輝く取組」をリサーチペーパーとしてまとめたことをふりかえり、本時のねらいを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は45分に限定するものではないので、各学校の計画に合わせて調整してよい。 ・スライド教材を活用するとよい。
展開 35分	<p>ねらい：リサーチ報告会を開き、調べた取組を紹介しあう。</p>		
	2.報告会で発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・発表するリサーチペーパーをもとに、みんなに伝えたいのはどのようなことだったかを確認させる。 	<p>グループワークのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・36人学級でリサーチ報告会をする場合は、6人×6グループ程度で実施するとよい。
	<p>🔍 問いかけ 問題を解決するために、どんな「“すべての”いのち輝く取組」があったらう？</p>		
	<p>🔧 ワーク さまざまな「“すべての”いのち輝く取組」を知るために、報告会をしましょう。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループに報告させる。 ・報告を聞き、ほかのグループのリサーチ報告に対して「すごい」と思ったこと、心に残ったことを児童用読本P.31にメモさせる。 ・メモした「すごい」と思ったことや、心に残ったことをグループで話しあわせたり、全体で共有したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共有を通して、「報告会をすることで、さまざまな取組を知ることができてよかった」ということを確認する。 		
<p>🔍 問いかけ ほかのグループの発表を聞いて、気づいたことや考えたことは？</p>			
<p>🔧 ワーク リサーチ報告会で、さまざまな「“すべての”いのち輝く取組」を知って、どんなことに気づいたり、考えたりしたでしょうか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチ報告会で、さまざまな「“すべての”いのち輝く取組」を知って、気づいたことや考えたことを書かせる。 	
まとめ 5分	3.まとめとふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・授業をまとめる。 ・たくさんの取組を知ることができたという発表会のよさを確認し、「さまざまな考え（叡智）を集め、新しいアイデアを生む」という万博の意義を改めて説明する。 ・「では、わたしたちには、何ができるのだろう？」と投げかけ、次の授業からの自分たちなりのアイデアを考えることへの意欲を高める。 	
<p>🗺️ ロードマップ 今日の学習で、わかったこと、心に残ったことを書きましょう。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップの授業6ふりかえりを記入させる。 			

■ スライド教材

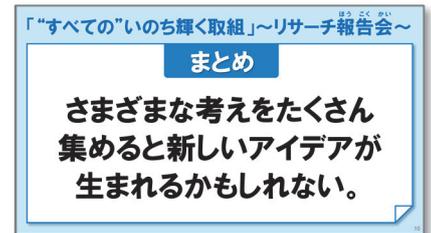
● リサーチ報告会のねらい

- ・意欲を高め、ねらいを共通理解するためにお使いください。



● まとめ

- ・報告会をまとめ、この後の自分たちなりのアイデアを考える活動につなげる際、お使いください。
 ぜひ、「さまざまな考え（叡智）を集め、新しいアイデアを生む」、「共に創る」という万博の価値を児童に伝えてください。



■ 児童用読本 授業6

報告を共有する（聞きあう）ことを通して、「“すべての”いのち輝く未来社会」のためのさまざまな取組を知る機会にしましょう。



※右側のページは、授業7で使用します。

● リサーチ報告会記録用紙 PDFデータ

- ・学年の人数や発表方法に応じて出力してご利用ください。



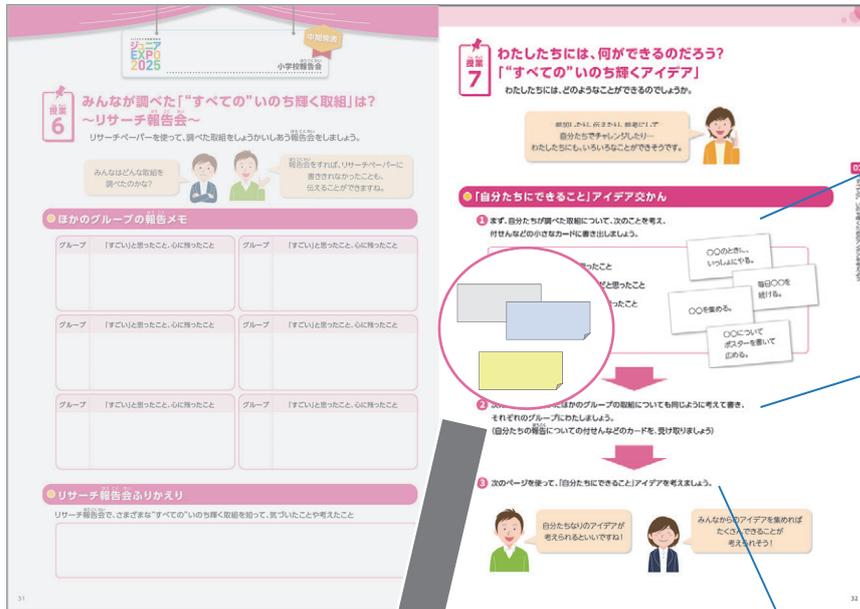
わたしたちには、何ができるのだろう？ 「“すべての”いのち輝くアイデア」

授業の
ねらい

- 報告会で知った取組をもとに、自分たちなりの「“すべての”いのち輝くアイデア」（自分たちができること、みんなによびかけたいこと）を考える。
- ★ほかのグループが調べた取組についても「自分ならこんなことができる」とアイデアを出し、ほかのグループからもらったアイデアも活用して、自分たちなりのアイデアを考える。

時間	学習内容・活動	教員の支援	指導上の留意点
導入 5分	1.ねらいをとらえる	・前時の報告会でさまざまな取組を知ることができたことをふりかえり、本時のねらいを伝える。	※ほかのグループが調べた取組についてアイデアを交換する活動をするため、全員が ほかのグループのリサーチペーパーを準備している状態 で授業を始める。
展開 35分	2.「自分たちにできること」アイデア交換	<p>・自分たちも、「参加する・伝える・チャレンジする」などできることがないか、投げかける。</p> <p>？ 問いかけ 「“すべての”いのち輝く未来社会」に向けて、わたしたちは、どのようなことができるのだろう？</p> <p>🔍 ワーク 「自分たちにできること」を考え、カードに書き出し、アイデア交換をしましょう。</p> <p>・自分たちとほかのグループが調べた取組について、自分なりのアイデアを考え、付せんなどの小さなカードに書き出させる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 15%;">自分にできそう だと思ったこと</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 15%;">学校で、みんな できそうだと 思ったこと</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 15%;">お家で、家族 できそうだと 思ったこと</div> </div>	<p>・これまでは、「さまざまな叡智を集める」ステップだったが、これからは「新たなアイデアを生む」ステップに進むことを伝えようとよい。</p> <p>・この後、分類整理するワークを行うため、1枚（1カード）につき1アイデアを記入させる。</p> <p>グループワークのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサーチをしたグループで、そのまま自分たちのアイデアを考えることを想定しているが、ほかのグループの発表を聞き、自分が調べた取組以外のアイデアを考えなくなった場合は、それを尊重してよい。
	3.わたしたちの「“すべての”いのち輝くアイデア」を考える	<p>・書いたカードをそれぞれのグループで交換させる。</p> <p>🔍 ワーク みんなからのアイデアを整理して、自分たちなりのアイデアを考えましょう。</p> <p>・集まったカードを参考にし、自分たちのアイデアを考えて書き出し、カードを追加させる。</p> <p>・大切だと思うカード、チャレンジしたいと思うカードなど分類させ、その中から自分たちなりのアイデアを選んだり、参考にさせて考えさせたりして、児童用読本P.33に書かせる。</p> <p>・児童用読本P.34を活用し、小学校EXPOについて説明し、自分たちなりのアイデアを発信することへの関心を高める。</p>	<p>★プログラムのヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童からアイデアを出しやすくする手立てとして、小学生が活動をしている（発信をしている、参加している、各家庭や学校でのチャレンジなど）事例を探させる活動を取り入れてもよい。 <p>★プログラムのヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐにグループ毎に考えさせるのではなく、まず全体で「これについてみんなでアイデアを出してみよう」など、考え方を確認してから、グループ活動にしてもよい。
まとめ 5分	4.まとめとふりかえり	<p>・授業をまとめる。</p> <p>🔄 ふりかえり 「“すべての”いのち輝く未来社会」のために、どのようなアイデアを考えることができただろう？</p> <p>・自分たちなりにアイデアを考えることができたことを価値づけ、「伝えたい」という意欲を喚起し、次の授業のポスター作りへつなげる。</p> <p>📍 ロードマップ 今日の学習で、わかったこと、心に残ったことを書きましょう。</p> <p>・ロードマップの授業7ふりかえりを記入させる。</p>	

■ 児童用読本 授業7



※左側のページは、
授業6で使用します。

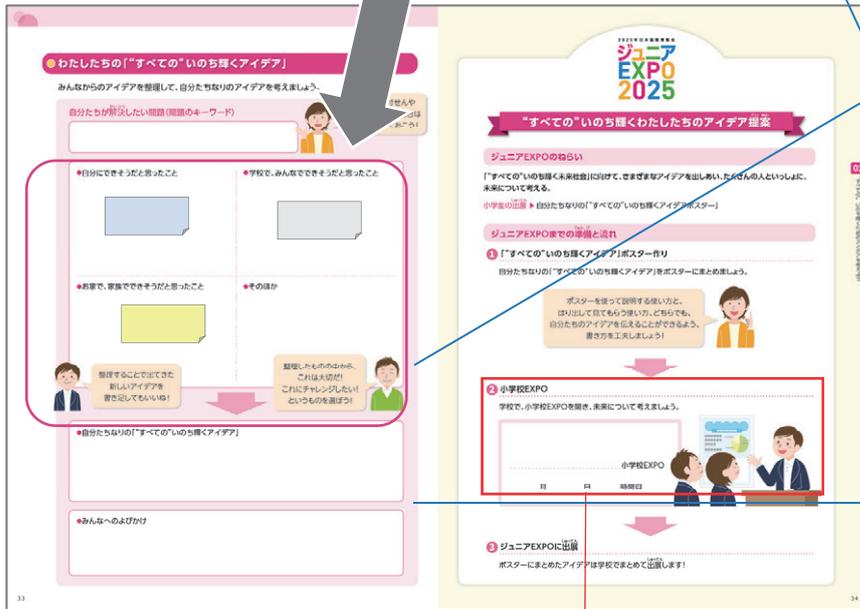
ワークの流れ

①自分のグループが調べた取組
について、アイデアを出す。

②ほかのグループの発表（調べ
た取組）に対して、アイデア
を出し、付せんなどのカード
に書いて交換する。

③自分たちのアイデアを考える
・情報を整理する。
(カードを分類し、
優先順位をつける。)

④自分たちなりのアイデア
として記入する。



！ ポイント

小学校EXPOの日程を記入させ、「共に考える機会」に対して意欲
を高めるとよいでしょう。
授業参観など、学校行事と関連させ、さまざまな対象への発信の場
とすることもできます。

授業のねらい

- 自分たちなりの「“すべての”いのち輝くアイデア」をポスターにまとめる。

時間	学習内容・活動	教員の支援	指導上の留意点
導入 5分	1.ねらいをとらえる	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に、ほかのグループからアイデアをもらいながら、自分たちなりのアイデアを考えることができたことをふりかえり、本時のねらいを伝える。 	
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> ねらい：自分たちなりの「“すべての”いのち輝くアイデア」をポスターにまとめる。 </div>			
展開 35分	2.ジュニアEXPOについて理解する 3.ポスター作りについて理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアEXPOのねらいを改めて伝える。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ●「“すべての”いのち輝く未来社会」に向けて、さまざまなアイデアを出しあい、たくさんの人といっしょに、未来について考える。 <p style="text-align: center;">小学生の出展：「“すべての”いのち輝くアイデアポスター」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアEXPOまでの流れを改めて確認する。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">①ポスターを作る ▼ ②小学校EXPOを開催する ▼ ③ジュニアEXPOに出展する</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用読本P.35を活用し、ポスターの作り方・発表の仕方について説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童用読本P.34を活用して説明するとよい。 <p>★プログラムのヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校EXPOを実施した後、可能であればジュニアEXPOまでの間にブラッシュアップすることができる。 ・その場合、小学校EXPOを「ゴールとしての発表会」ではなく、授業6リサーチ報告会と同じく「さまざまなアイデアを得る場」とすることで、万博だからこそその「共創」の学びが実現する。 <p>★カリキュラム・マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語（小学校高学年）の学習と連動させるとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアEXPOには、ポスターのみを出展するため、口頭で補足できないことを伝え、それを踏まえた表現を工夫させるとよい。
	4.自分たちなりのアイデアをポスターにまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちなりのアイデアを、児童用読本P.36に書かせ、整理させる。 ・清書させる。 	
まとめ 5分	5.まとめとふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・授業をまとめる。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>🔄 ふりかえり あなたが作ったポスターで、一番伝えたい部分はどこだろう？</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちなりのアイデアを発信する準備ができたことを価値づけ、「伝えたい」という意欲を喚起し、次時の小学校EXPOでのポスター発表へつなげる。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>🗺️ ロードマップ 今日の学習で、わかったこと、心に残ったことを書きましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップの授業8ふりかえりを記入させる。 	<p>★プログラムのヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果物の仕様（大きさ）は、各学校の実態に応じたものでよい。 <p>★カリキュラム・マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時で考えた内容を外国語で表現させるなど、外国語と連動させることもできる。

■ 児童用読本 授業 8

ジュニアEXPOには、ポスターのみを出展します。
 その場で口頭で補足することができないので、詳細に書き込むことも1つの方法ですが、見るだけでわかるようにするためのさまざまな工夫にも挑戦させるとよいでしょう。

前編 8 あなたが伝えたい
「すべての」いのち輝くアイデアは？
 リサーチペーパーをもとにして、自分たちなりのアイデアをまとめ、多くの人に伝えて、みんなを取り組めるようによびかけるポスターを作りましょう。

使って伝える ポスター作り

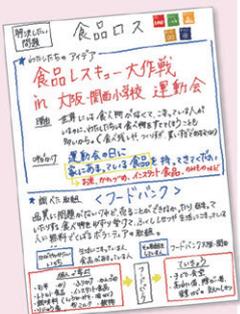
ポスターの役割
 ポスターは、自分の意見や、人に知ってほしいことを伝えるためのものです。調べた取組と自分たちの考えを伝え、たくさんの人とつよむに「すべてのいのち輝く未来社会」について考えたり、アクションを起こしたりしてもらえようようにしましょう。

ポスターのかき方

- 伝えたい情報を整理して、紙を折り付けそれぞれ、どれくらいの分量で書くかを決めましょう。
※次のページの「内容整理シート」で下書きをしよう！
- 見出しやリード文を考え、それぞれの文字の大きさを工夫しましょう。
- 絵や写真などと文章との組み合わせを工夫して、読み手を引きつけるポスターにしましょう。
- ポスターで書いておくことと、書かずに説明することを区別して、文字と説明の量を工夫しましょう。

発表の準備と工夫

- 発表の最初は、聞き手の興味を引くことが大切です。問いかけやクイズで工夫しましょう。
- ポスターのどの部分を使って、どのように説明するかを考え、必要に応じてメモを準備しましょう。



調べた情報と自分たちの考えを整理しよう！

内容整理シート

年 級 番 組 グループ 名前

●自分たちが解決したい問題のキーワード

“すべての”いのち輝くアイデア

●自分たちなりのアイデア

●みんなへのよびかけ

参考にした取組

●「すべての」いのち輝く取組

●取り組む人たち

●取組の決断-調べてわかったこと

● 内容整理シートPDFデータ

- 児童用読本に記入させるのではなく、提出用ワークシートとして別紙で準備したり、グループワークをさせたりする場合などは、出力してご利用ください。



授業のねらい

- 発表しあう（聞きあう）ことを通し、「すべての”いのち輝く未来社会」のために、自分ができることを考える。
- さまざまなアイデアに触れ、仲間と共に未来社会について考える価値に気づく。

時間	学習内容・活動	教員の支援	指導上の留意点
導入 5分	1.ねらいをとらえる	<ul style="list-style-type: none"> ・前時では、自分たちなりに「すべての”いのち輝くアイデアポスター」としてまとめたことをふりかえり、本時のねらいを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は45分に限定するものではないので、各学校の計画に合わせて調整してよい。 ・授業参観に合わせるなど外部の大人の聴講も効果的な実施につながる。 ・スライド教材を活用するとよい。
展開 30分	2.小学校EXPOを開催する	<p>🔍 問いかけ みんなは、どのようなアイデアを考えたのだろうか？</p> <p>🔧 ワーク 自分たちで小学校EXPOを開き、未来についてみんなで考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループに発表させる。 ・それぞれの発表について、以下のことを聞き取らせ、児童用読本P.37にメモさせる。 <p>●解決したい問題のキーワード</p> <p>●“すべての”いのち輝くアイデア・よびかけ</p>	
	3.発表会のまとめとふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会をふりかえる。 <p>🔧 ワーク ほかのグループの発表を聞いて、自分もやってみたいことを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表のメモ欄の「自分もやってみたい」に○を書かせる。 <p>🔧 ワーク ほかのグループの発表を聞いて心に残ったこと、「すごい」と思ったこと、わたしのベストアイデア賞を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほかのグループの発表を聞いた感想、「わたしのベストアイデア賞」とその理由を書かせる。 <p>🔄 ふりかえり 自分たちで、小学校EXPOを開いて、どんなことに気づいたり、考えたりしただろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことや考えたことを書かせる。 ・仲間がさまざまなアイデアを考えていたことを確認し、2025年大阪・関西万博がめざす「共創」に近づいていることを価値づける。 <p>🗺️ ロードマップ 今日の学習で、わかったこと、心に残ったことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップの授業9ふりかえりを記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・○は複数つけてよい。「共に未来社会を創る」という姿勢で発表を聞きあえるよう支援するとよい。 ・「ベスト（1つ選ぶ）」や「賞」にこだわるのではなく、「わたしの」や「理由」をはっきりさせることが重要であることを伝え、一人一人が「自分は未来社会のために、これが大切だと考えること」がこれからの未来社会に不可欠であることを伝えるとよい。
まとめ 10分			

アイデアを否定しない

価値観が多様化し、驚くべき速度で技術革新が進む現代社会において、これまで実現不可能であったアイデアが社会を変えたり、今のわたしたちの当たり前の生活を支えたりするようになっていきます。

今回、児童たちが挑戦するのは、実社会の大人たちでさえ解を見出すことができていない複雑で困難な問題です。

ですから、一見稚拙に見えたり突拍子もなく思えたりするアイデアを否定することはできません。

それよりも、**多感なこの時期に、自分自身で「誰一人取り残さない」「すべての”いのち輝く未来社会」を思いがき、アイデアを出したこと**自体を大いに評価しましょう。

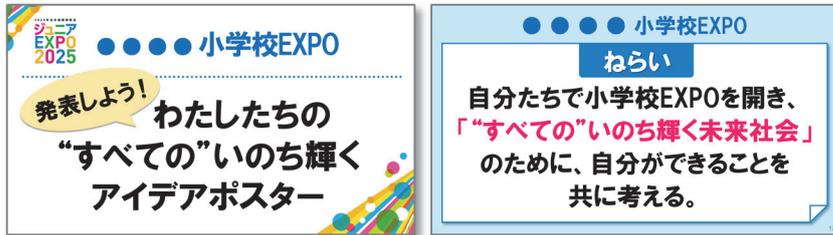


提供：経済産業省

■ スライド教材

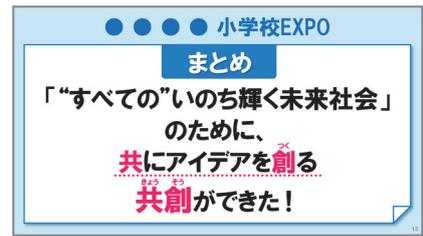
● 小学校EXPOのねらい

- ・意欲を高め、ねらいを共通理解するためにお使いください。



● まとめ

- ・小学校EXPOの後、「自分たちで、さまざまなアイデアを出しあって、考えを交流することができた」ことを価値づける際、お使いください。



■ 児童用読本 授業 9



授業の終わりに、自分たちで小学校EXPOを開いた感想を書かせ、「共に考える機会」を自分自身がどのように考えたかをふりかえらせます。

発表をメモさせ、最後に「自分もやってみたい」と感じたものに○を書かせます。

● 小学校EXPO記録用紙 PDFデータ

- ・学年の人数や発表方法に応じて出力してご利用ください。

授業の
ねらい

- これまでの学びをふりかえり、「“すべての”いのち輝く未来社会」のために、自分自身が大切にしていきたいことを言語化し、明らかにする。

時間	学習内容・活動	教員の支援	指導上の留意点
導入 5分	1.ねらいをとらえる	<ul style="list-style-type: none"> ・前時は、小学校EXPOを開催し「“すべての”いのち輝くアイデア」を共に考えることができたことをふりかえり、本時のねらいを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの最終まとめ、児童用読本3章(03)は、「“すべての”いのち輝く未来社会」のために。 問いは、わたしたちには、どんな未来が待っているのだろう？
展開 ① 25分	2.未来社会を創る自分の決意を固める	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちなりのアイデアや、ほかのグループのアイデアで自分がやってみたいと考えたことをふりかえらせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの学習に対して「こんなにもアイデアを考えることができた」「やってみたいアイデアがたくさん出せた」など価値づけをし、自己肯定感・自己効力感を高めてから、決意につなぐ。
	3.単元をふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な目標を、決意として書かせる。 ・グループや全体で共有し、一人一人が行動していくことが、「誰一人取り残さない」「“すべての”いのち輝く未来社会」につながることを伝える。 	
展開 ② 10分	4.万博招待カードを書く	<ul style="list-style-type: none"> ・この学習での学びを発信することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象は、身の回りの人や、大阪・関西以外の親戚などが考えられる。修学旅行でつながった人たちや、海外姉妹都市を対象に「招待」し、自分たちができることを考える活動へ発展させることもできる。
	5.まとめとふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> ・単元をふりかえらせ、自分たちが考え抜いたことを評価し、これからの未来社会を担う人材としての期待を伝える。 	

ねらい：「“すべての”いのち輝く未来社会」のために、自分が大切にしていきたいことを考える。

？ 問いかけ あなたは、「“すべての”いのち輝く未来社会」のために何をします？

🔍 ワーク 「“すべての”いのち輝く未来社会」のために、「自分もやってみたいアイデア」、自分が大切にしていきたいことを書きましょう。

？ 問いかけ アイデアポスター作りを通して、あなたは、どんなふうに考えてきたのだろう？

🔍 ワーク 「共にアイデアを創る」活動を通して、気づいたことや考えたことを書きましょう。

★プログラムのヒント
 ・ロードマップとして記録させてきた各授業のふりかえりを俯瞰させることで、自分の考えの広がりや深まりに自分自身で気づかせる。

？ 問いかけ あなたは、2025年大阪・関西万博で、誰と未来を考えたい？

🔍 ワーク 「いっしょに万博に行って、未来について考えよう！」とさそう、メッセージを書きましょう。

🗺️ ロードマップ この学習で、わかったこと、心に残ったことを書きましょう。

・ロードマップの授業10ふりかえりを記入させる。

■ 児童用読本 授業10

「いっしょに未来について考えよう」というメッセージカードを書く活動を準備しました。授業計画に応じて、実際に送ったり、さまざまな対象に書かせたりしてもよいでしょう。言語化させた内容から、万博をどのようにとらえているのか、評価することができます。

学習のまとめとして、「誰一人取り残さない」「すべてのいのち輝く未来社会」のために、自分は何をするのか、具体的な行動目標を言語化させます。

グループでの活動はもちろん、リサーチ報告会や小学校EXPOを通してどのように考えが広がったり深まったりしたかをふりかえって言語化させます。

！ポイント

単元を通じた自分の考えの広がりや深まりを、児童自身に気づかせるため、ロードマップをふりかえらせるようにしよう。

プログラム後の展開のヒント

本プログラムは、小学校高学年を対象にしています。

本プログラムの全10授業で大切にしてきた「誰一人取り残さない」「すべてのいのち輝く未来社会」は、授業にとどまるものではなく、教育活動全体を通して児童に伝えたい重要な考え方です。

例えば、児童会活動（委員会活動）や、学校行事、卒業に向けてのアクションなど、児童が実際の行動を通して、学んだことを具現化する活動につなげていくなど、教育課程全体を通じたカリキュラム・マネジメントをしていくとよいでしょう。

■参考WEBサイト

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）についての最新情報、詳細を掲載している公式サイト。テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」や、SDGsとの関連、開催までのさまざまな活動について調べることができる。

<https://www.expo2025.or.jp/>

経済産業省 国際博覧会

- 今後開催予定の博覧会、過去に開催した博覧会など、日本・世界の博覧会について掲載しているWEBサイト。「万博豆知識」や、「万博ことはじめ」、日本で開催された過去の国際博覧会について（リンク集）などを掲載している。

<https://www.meti.go.jp/policy/exhibition/index.html>

外務省 JAPAN SDGs Action Platform

- SDGsに関連した取組を幅広く紹介することを目的にしたWEBサイト。「SDGsとは?」、「日本政府の取組」、「取組事例」そして、「ジャパンSDGsアワード」について掲載。児童用読本に掲載しきれなかった事例など、さまざまな情報を調べることができる。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/SDGs/index.html>

独立行政法人国際協力機構（JICA）地球ひろば

- 子どもたちが、世界の現状や課題、国際協力などについて知り、考え、自分たちにできることを探すために活用できる教材を掲載している。フォトランゲージワークの、「世界の課題を考える写真」で使える素材など、さまざまなコンテンツを無料で使用することができる。

<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/material/index.html>

公益社団法人日本ユニセフ協会 教えて！ユニセフ 子どもと先生の広場

- ユニセフや世界の子どもの暮らしについて、子どもたちが知り、自分にできることを考え行動していくためのさまざまな情報を掲載しているウェブサイト。子どもたちがSDGsについて学べる特設ページ「SDGs CLUB」では、SDGsの目的やつくられるまでの歴史、17の目標の背景にある課題の解説など、さまざまなコンテンツがあり、無料で使用することができる。

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/>

未来を担う子どもたちに
SDGsを理解し、
自分たちなりの問題解決策を考えてほしい、
そして、「共創」する資質・能力を身につけてほしい
という思いを込めた本プログラムは
いかがだったでしょうか。

このプログラムで学んだ子どもたちと、先生方と、
これからの未来社会を
共に創造したいと願っています。

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

●官公庁関係

大阪府
経済産業省

(協力)
大阪府教育庁

●参考図書・ホームページ、写真・映像協力

イオン九州株式会社
NTT技術史料館
鹿島建設株式会社
柏書房株式会社
上板町立高志小学校
国谷裕子監修 「国谷裕子と考えるSDGsがわかる本」 文溪堂
独立行政法人国際協力機構
公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
国立国会図書館
在日米国大使館 「在日米国大使館公式マガジン アメリカン・ビュー」
サラヤ株式会社
山陽学園中学校・高等学校
住友電気工業株式会社
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
一般財団法人地球産業文化研究所
公益財団法人つくば科学万博記念財団
東海旅客鉄道株式会社
東京書籍株式会社
一般財団法人日本国際飢餓対策機構
公益財団法人日本ユニセフ協会
株式会社乃村工藝社
パナソニック株式会社
ピクスタ株式会社
藤井秀雄
二神敦
松浦寿輝 「エッフェル塔試論」 筑摩書房
読売新聞社
株式会社LIXIL

(監修)

伊藤武志 (大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ 教授)
田和正裕 (大阪大学 グローバルイニシアティブ・センター 特任教授)
堂目卓生 (大阪大学大学院 経済学研究科教授/社会ソリューションイニシアティブ長)
草郷孝好 (関西大学 社会学部教授)

万博学習読本 小学校版 教員用指導書

2021年9月30日

発行：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

〒559-0034 大阪市住之江区南港北1丁目14-16 (大阪府咲洲庁舎43階)

TEL：06-6625-8651

編集協力：大日本印刷株式会社 株式会社キャリアリンク

印刷：大日本印刷株式会社

